

3 学年「国語科」シラバス

学習の目標

目的や相手に応じ、調べたことなどについて、的確に話す能力、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てます。また、目的に応じ、中心となる語や文を捉えて読む能力を身に付けさせるとともに、読書の範囲を広げ、文字や語句について、辞書を利用することを通して調べようとする態度を育てます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作文 ○ノート ○提出物

3 学年「算数科」シラバス

学習の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てます。

わり算、かけ算の筆算、円と球、三角形、小数、分数、重さなどについて学習します。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を積み重ね、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物



3 学年「社会科」シラバス

学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養います。

自分たちの住んでいる地域や練馬区について、商店の仕事、農家の仕事、昔の暮らしと古い道具について学びます。また、地図記号や方位についても学習します。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解しているとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめている。
思考・判断・表現	地域における社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	地域における社会的事象について、地域社会に対する誇りと愛情をもつ地域社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物

3 学年「理科」シラバス

学習の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

植物や昆虫の体のつくりや成長のようすを調べること、風やゴムの働き、太陽と地面の様子、太陽の光、ものの重さ、豆電球、磁石、音の伝わり方の大小について学びます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物及び太陽と地面の様子について理解しているとともに、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物及び太陽と地面の様子について観察、実験などを行い、主に差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物及び太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○観察カード ○発言、発表 ○単元テスト
○小テスト ○ワークシート ○ノート ○提出物